



日本聖公会神戸教区 第96(定期)教区会 開会演説

主教 バジル 八代 智

1 主教按手式への感謝
まずはじめに、9月20日に神戸聖ミカエル教会で行われた神戸教区主教按手式・就任式に、教区内から遠路は

お越しいただき、大いなる祈りと励ましと祝意をいただきましたことをこの場をお借ります。

神戸聖ミカエル教会で行われた神戸教区主教按手式・就任式に、教区内から遠路はお越しいただき、大いなる祈りと励ましと祝意をいただきましたことをこの場をお借ります。

また式典長をはじめ神戸伝道区の皆様、神戸聖ミカエル教会の皆様の周到な準備おかげで無事に按手式を迎えることができ、本当にありがとうございました。非常に多くの方々にお越しいただき只々感謝ですが、それだけにお越し頂いた皆様と充分お話しすることもできず、すまなく

思っています。その分、巡錫で各教会に行かせていただく時に、教会の皆様といろんなお話をできるのを今から楽しんでいます。これからお

8年間、どうぞよろしくお願ひします。

2 宣教150年を迎えるにあたり

来年はいよいよ神戸教区宣教150年を迎えます。言

うなれば、私たちの神戸教区150歳の「お誕生日」といえるでしょう。それだけに当

神戸教区として示したい」との宣言を、私も大いに奨励いたします。

P D C A という表現が最近

の教会には必ず求道者が与えられ、教会離れしていた信徒の子供たちも戻ってきてくれることでしょう。

ましたが、とくに多くの企業を続ける努力をする限り、そ

の年に大にお祝いしたいですし、すでに聖徒の交わりの中にある各教会の歴代聖職・伝道師・信徒の皆様方に感謝するひと時としたいのです。

る時に必ず実践されているフレームワークと言えるでしょう。トヨタの「カイゼン」や「現場主義」や「トヨタイズム」もこの徹底から築かれました。



2026年
1月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>



発行責任者
司祭 上原 信幸
印刷所
文明堂印刷所

Plan (計画) Do (実行)
Check (評価) Action (改善)
ですが、過去10年でここまで徹底して宣教活動に力を尽くしてきた教会はどれほどあるでしょうか。教会も企業も同じ方向を見続けて努力することは、全く同じだと思います。

「礼拝も伝道もお給料を貰っている司祭さんにお任せしとけばいいや」という教会があるとするならば、その教

会は残念ながらこのサイクルを徹底しているとは決して言えないでしょう。聖職・信徒にかかるわらず、その教会が一丸となって少子高齢化の中で様々なイベントや楽しい会

を続ける努力をする限り、その教会には必ず求道者が与えられ、教会離れしていた信徒の子供たちも戻ってきてくれることでしょう。

過去10年、我々の教会は一体何をしてきたのか？

過去10年、それでみんな満足できたか？

過去10年、主日礼拝に参加して心から癒されたか？

こうした過去10年の各教会の歩みをしつかり評価して、次の10年に向けてさらにステップアップした宣教活動に、神戸教区としても全面的に協力したく願っています。

3 教区財政

現在、神戸教区のみならず日本聖公会各教区においても、教区財政難が問題となっています。教区のみならず各教会においても、会計が逼迫した状況が憂慮されています。戦後から高度成長期に至るまで、どの教会でも青年信徒がいっぱいいました。現在もなお、当時青年であった信者さんが自分の教会を一生懸命支えてくださっています。

このことは教区内各教会のみならず、瀬戸内海以外の各地域で過疎化が深刻な社会問題となっていることと重なっています。その地域の人口減少と共に、教会の少子高齢化が進むのも当然のことと言えます。このようない方々に

トがあるとするとなるべくなるでしょう。
この度、私が教区主教として選ばれたことに唯一メリットがあるとするとなるべくなるでしょう。

が、現在所属している八代学院から給与をいただいており、教区から給与を支給されないところにあるでしょう。財務部の皆さんのが優しさから予算を計上していただいている。私は、私個人の考え方としては0でも一向にかまいません。主教として巡錫した時の交通費等はいただきますが、私の「人件費」を無くすだけでも、8年で五千万円近くも教区財政に寄与することができるのです。そこで得るであろう余剰金を牧会資金援助金や子育て世代の若手聖職に還元することができます。私にとって最も喜びとなるのです。

今ひとつ、私が主教に着手された前から、多くの方々に

トがあるとするとなるべくなるでしょう。
この度、私が教区主教として選ばれたことに唯一メリットがあるとするとなるべくなるでしょう。

が、現在所属している八代学院から給与をいただいており、教区から給与を支給されないところにあるでしょう。財務部の皆さんのが優しさから予算を計上していただいている。私は、私個人の考え方としては0でも一向にかまいません。主教として巡錫した時の交通費等はいただきますが、私の「人件費」を無くすだけでも、8年で五千万円近くも教区財政に寄与することができるのです。そこで得るであろう余剰金を牧会資金援助金や子育て世代の若手聖職に還元することができます。私にとって最も喜びとなるのです。

トがあるとするとなるべくなるでしょう。
この度、私が教区主教として選ばれたことに唯一メリットがあるとするとなるべくなるでしょう。

が、現在所属している八代学院から給与をいただいており、教区から給与を支給されないところにあるでしょう。財務部の皆さんのが優しさから予算を計上していただいている。私は、私個人の考え方としては0でも一向にかまいません。主教として巡錫した時の交通費等はいただきますが、私の「人件費」を無くすだけでも、8年で五千万円近くも教区財政に寄与することができるのです。そこで得るであろう余剰金を牧会資金援助金や子育て世代の若手聖職に還元することができます。私にとって最も喜びとなるのです。



4 特任聖職

「特任聖職」と聞いても、信徒の皆様はあまりご存知ないでしょう。でも小学生時代から私を慕ってくれた、ある後輩聖職が、「オレは来年から特任聖職になる」と言い出してくださいました。「オレいいきなりやないかい、オレも主教になつたばかりやから、せめてもう1年待つてくれよ」と頼んだのですが、一度決めたら決して曲げない頑固者であることは以前から承知していましたので、神戸教区初となるバイオニアの彼を応援するべく今は考えていました。

その後輩聖職は「自給して

いる聖職者たちへ特任聖職実践ガイド」という英書を翻訳して出版したほどですの

で、「自分が最初になる」とのその篤い思いも尊重したいです。

幸い、関西学院大学神学部を卒業して、現在、学校や諸団体で社会人として立派に働いている人たちが、神戸教区には10人近く存在しています。そんな彼らが近い将来、特任聖職として可能な限り土日の休みを教会奉仕や、み言葉の礼拝だけではなく、サクランメントのお恵みに預かる奉

本の紹介

『意味は待つことにある』

～アドベントの「じこひ」～

ポーラ・グッダー著・中原 康貴訳



「辛抱さの喪失」という言葉を耳にしたことがあります。現代はとても便利になり、欲しいものも情報もすぐに手に入るようになりました。その一方で、私たちは“すぐに叶わないこと”や“すぐに動き出せないこと”を受けとめ

る力が弱くなっているのではなかが、そんな指摘を聞いたことがあります。

今回紹介する本は、そうした今の時代にあって「待つこと」に目を向けた一冊です。聖書に登場する人々の歩みをたどりながら、「待つこと」に目を向けていた

「辛抱さの喪失」という言葉を耳にしたことがあります。現代はとても便利になり、欲しいものも情報もすぐに手に入るようになりました。その一方で、私たちは“すぐに叶わないこと”や“すぐに動き出せないこと”を受けとめ

る力が弱くなっているのではなかが、そんな指摘を聞いたことがあります。

今回紹介する本は、そうした今の時代にあって「待つこと」に目を向けた一冊です。聖書に登場する人々の歩みをたどりながら、「待つこと」に目を向けていた

「辛抱さの喪失」という言葉を耳にしたことがあります。現代はとても便利になり、欲しいものも情報もすぐに手に入るようになりました。その一方で、私たちは“すぐに叶わないこと”や“すぐに動き出せないこと”を受けとめ

る力が弱くなっているのではなかが、そんな指摘を聞いたことがあります。

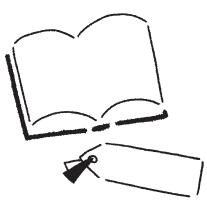
今回紹介する本は、そうした今の時代にあって「待つこと」に目を向けた一冊です。聖書に登場する人々の歩みをたどりながら、「待つこと」に目を向けていた

2月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2026年2月5日(木)午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 八代 智
説教 執事 宮田 裕三

どなたでもいらしてください
＊2月の記念逝去教役者

3日	司 祭	ハリー	ウッドワード	ド
3日	司 祭		粟 飯 原	信 生
4日	伝道師		横 田 秋	ン 郎
5日	司 祭	バークレー	バックストン	一 六
5日	司 祭	ヤコブ	牧 野 輿	宗
5日	主 教	モーセ	村 尾 昇	
6日	司 祭		竹 内 宗	
7日	宣教師	ホノリア	ウォージントン	
11日	司 祭	ヨハネ	市 中 道 政	
12日	伝道師	ルツ	サ 小 南 木	
12日	伝道師		ア ヒル	
13日	宣教師	フローレンス	ア ライド	
16日	司 祭	ジョージ	ブ ライド	
17日	司 祭	ジョージ	一 次	
20日	司 祭	ヨセフ	田 中 愛	
23日	伝道師		西 村 廣	
25日	伝道師		松 山 ア	
—	伝道師	アリス	パ カ	



という行為がどんな意味を持ち、どんな恵みをもたらすのかを、優しく教えてくれます。著者のポーラ・グッダーは、英國で広く知られる聖書学者です。豊かな知識と落ち

着いた洞察をもって「待つこと」をさまざまな角度からとらえ、その大きさをあたたかく語りかけてくれます。

アドベントには、キリストの降誕を待ちながら未来に希望を向けることと、終わり

を振り返るという、二つの側面があるといわれます。本書はその両方をやさしく示します。たとえ困難のただ中にあっても、希望とともに歩もうとする生き方をそっと後押

してれます。黙想や祈りの時間の中で、そのメッセージ

が静かに心に染みていま

す。聖書原典への丁寧な読み込みや最新の研究成果が背景にあります。グッダーの文

章はとても読みやすく、専門

的でありながら身近に感じら

れる表現が特徴です。また、その魅力を損なわず、自然でわかりやすい日本語に訳してくださった中原司祭の表現力に、深く感銘を受けました。

みなさん、ぜひご一読ください。（司祭 林 和広）